

<SELF> 第154回懸濁物質 分析値自己管理会配付試料について

配付試料

1. 目標調製濃度：懸濁物質(SS) 40～120 mg/L (500 mL 希釈後)
カオリン 1040 mg/L の懸濁液を調製して、均質な中間層が 900 mg/L 付近になると想定

※ SELF 委員会分析値：890 mg/L (配付原液)
[50 mL の配付液を 500 mL に希釈して分析]

2. 共存物質 : ヘキサメタリン酸ナトリウム 5200 mg/L (配付原液)
3. 作業手順 :
 - ①精製水 1 L にヘキサメタリン酸ナトリウム 125 g を加えて溶解後、カオリン 25 g を加え懸濁液を作製。
 - ②アクリルコアに精製水を入れ、上記①の懸濁液を加えて全量 24 L とした後、激しく攪拌。
 - ③30 分静置後、中間層をサイフォンで 15 L 分取。
 - ④③の分取した試料をよく攪拌しながら、正確に 50 mL を分注。